

R7かけはし通信

NO.2 令和7年9月2日
津市教育委員会

小学校1年生の授業から

～環境・言葉掛けの工夫あれこれ～

子どもの“安心感”に
つながるスタートカリキュラムの一部です。



先生
一緒に絵描き
しようよ！

教室の真ん中に畳が！
靴箱の位置を
教室に一番近い場所に変更！

教室には床に座って遊べるコーナーがいくつも設定してあります。1年生は朝のひとときを、まるで幼児教育施設のような環境で安心して過ごしています。

また、靴箱の位置を、教室に一番近い場所に移し、学校生活が安心にスタートできるような工夫をしています。

【櫛形小学校】

「カタツムリの
速さだよ、
ゆっくり
ゆっくりね！」



プリントに書かれた文字を鉛筆でなぞる時にかけられた先生の言葉です。カタツムリは、これまでに見たり、幼児教育施設で飼育したりして関わってきた身近な生き物。

“カタツムリの速さ”は抽象的なようで、実は具体的でわかりやすい速さです。先生が、子どもたちの興味を持てる言葉を選んで伝えられていました。

【南が丘小学校】

子どもに合わせて授業を
15分の単位で組立！
朝顔の発芽の様子を体で表現！



体で表現することを楽しむ
子どもたち。朝顔のお世話をする体験の楽しさや生長の喜びを感じる子どもたちです。



【養正小学校】

たねをうえたよ。
たのしかったよ。
これからもみずをあげるね。

“早く洗いたい！”子どものやってみたい
があふれる上靴洗い（生活科）



こうやって洗うと、
きれいになるよ。

授業が始まる前の休み時間に、すでに家から持ってきたブラシを使い、靴を洗う練習を始める1年生。

授業が始まると家庭で聞いたり、自分で考えたりした洗い方の“技”について、友達と交流し合いました。

【安東小学校】

「津市架け橋プログラムに係る研修会Ⅱ」のご案内

日時：令和7年9月18日(木)15:00から 場所：サンヒルズ安濃

内容・講師：「幼児教育と小学校教育の接続と推進について」

鳴門教育大学大学院教授 佐々木 晃 先生

子どもの育ちをつなげる幼小接続を図ることがより一層重要とされている今、子どもと関わっている私たちが教育の連続性をどうつないでいくか、どのように実践していくかが重要になってきます。架け橋プログラムの取組や幼小接続について佐々木先生よりご講演いただきます。

申し込みがまだの方はぜひご参加ください！お申し込みは、津市学校教育課229-3391までお電話ください。